

3層アーキテクチャを利用して、 変化に強い生産管理システムを実現

ナフサ船の入港情報などを早期に把握、適切な指示による経費削減はざっと4.5億に

三井化学株式会社 市原工場（旧三井石油化学工業株式会社千葉工場）

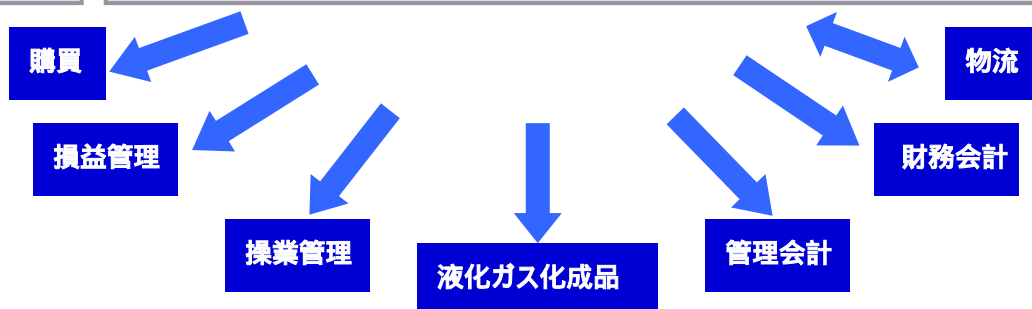
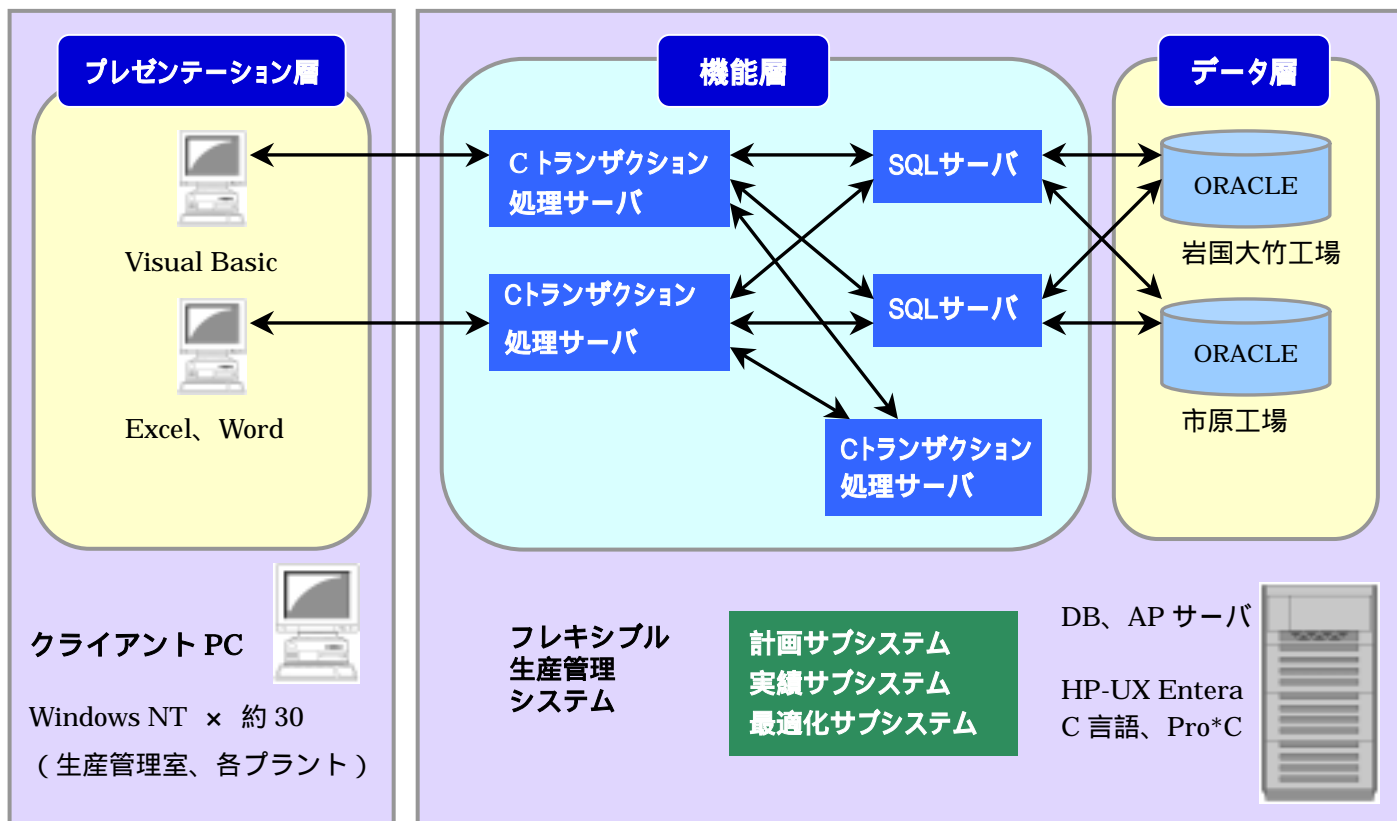
住所 千葉県市原市

業種 総合石油化学メーカー

なぜ Entera か？

Entera の 3 層アーキテクチャこそが、自分たちが求めていた変化に強いしくみ作りを可能にしてくれるものと確信、また 3 層構造ならメンテナンスもしやすい。

システム構成図



ユーザーコメント

三井化学株式会社

システム部市原システム 石坂祥司氏

「三井東圧化学との合併に際して、お互いの工場におけるシステム整合のための話合いがもたれましたが、三井石油化学千葉工場の生産管理システムは既に3層化され高い柔軟性を確保されていたため、その打合せは極めてスムーズに進めることができました。3層構造を採用したことが、こんな予期せぬ効果をも生んでいます。」

システム概要

生産管理システム（新 PORCS システム）

計画サブシステム・実績サブシステム・最適化サブシステムから構成され、旧システム・表計算・手入力など種々の入力形態に対応し、また時代の変化に追従した最適化を的確に支援する極めてフレキシブルで、且つ保守の容易な生産管理システムとして構築。

導入経過

H.6年4月～業務分析開始

H.6年9月～3層構造採用決定、Entera教育開始

H.6年11月～開発着手、プロトタイプ作成

H.7年2月～計画系システムリリース

H.7年4月～実績系システムリリース

H.8年4月～岩国大竹工場計画系システムリリース

H.8年10月～岩国大竹工場実績系システムリリース

導入効果

新PORCSを有効利用することによって、安いナフサを輸入したり、物流費を大幅に削減することができた。また、ナフサ船が急に早く入港してしまった場合でも早くタンクを開けて待船料を節約することが可能となった。

市原工場と岩国大竹工場のシステム構成が同一なので両工場のデータ共有が容易になった。

Enteraの3層構造を採用したために、分散システムの本質を理解できた。また、新技術の導入によってシステム部員のスキルアップにつながった。

今後の課題

共有化しなくてもよい機能層の一部をクライアントに組み込むなど、クライアントとサーバのバランスをとること。